

アプリ開発・運用・グロースをひとつで実現する「APPBOX」、 パートナープログラムを開始し普及を加速

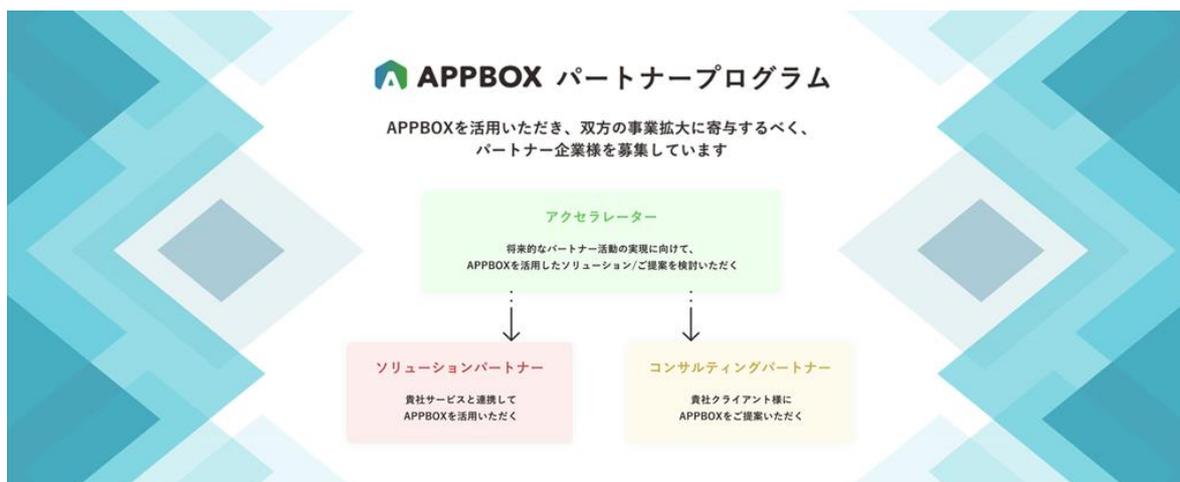
初期パートナーとして各業界で独自の強みを有する 13 社が参画

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX（アップボックス）」とパートナー各社との連携を通じて企業のアプリビジネスを加速するプログラム「APPBOX パートナープログラム」を開始することをお知らせします。プログラムには初期パートナーとして 13 社の参画が決定しています。

■初期参画パートナー（五十音順）

株式会社アプラス / 株式会社 NTT アド / 株式会社 NTT データ / 株式会社オステアリーズ / 宣研ロジエ株式会社 / 株式会社電通デジタル / 日本リテイルシステム株式会社 / ネットイヤーグループ株式会社 / 株式会社パルコデジタルマーケティング / 株式会社フォーデジット / 株式会社プレイシク / 株式会社ブレインパッド / 株式会社 WOW WORLD

■APPBOX パートナープログラムサイト：https://iridge.jp/service/appbox_partner/



「APPBOX」について

近年、OMO[※]をはじめとするデータを活用した取り組みが盛んになっています。アプリ開発の現場では、会員システムや基幹システムとのサーバー連携などを含む大規模なシステム開発が増え、開発コストは年々上昇の傾向にあります。また企業の DX への取り組みの一つとして内製化や複数の外部企業・ツールとの連携も出てくる中、アプリ開発・運用を取り巻く環境は複雑化を増しています。

アイリッジではこのような状況を踏まえ、外部システムや各種他社ツールとの連携を前提とした設計思想を持つアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」を 2023 年 4 月に提供開始しました。アプリで使う各種機能群（モジュール）を組み合わせることで、ゼロからのアプリ開発や、他社開発アプリを含む既存アプリの機能拡張、マーケティング施策まで、アプリビジネスに必要なすべてを支援するプラットフォームです。

このたび、外部システムやツールとのデータ連携部の手続きを共通化し、仕様差を吸収することで連携工数とコストを削減するモジュール「APPBOX コネクト」の実装が 9 月に完了しました。これを受け、外部連携先のラインアップ拡充と、販売促進を目的としたパートナープログラムを開始します。

※OMO（Online Merges with Offline）：オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動

「APPBOX パートナープログラム」について

「APPBOX パートナープログラム」では、「APPBOX」との連携によりパートナーとアイリッジ双方のアプリビジネスの加速・拡大が期待できる企業様を対象に、3種類のプランをご用意しています。各パートナーの詳細や参画メリット、特典は下記のとおりです。詳細は公式サイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

■ソリューションパートナー

システム連携により「APPBOX」単体では対応できない機能拡張を実現いただくパートナーです。最大のメリットは、「APPBOX」を活用することでパートナー企業様のソリューションのアプリへの組み込み工数・費用を大きく削減できることです。導入企業の負担を減らすことで、新規アプリ開発や既存アプリの機能拡張時にソリューションが選ばれる可能性を高めます。また、コンサルティングパートナー企業様による提案機会増も見込めます。

■コンサルティングパートナー

自社のクライアントへの提案に「APPBOX」を活用いただくパートナーです。最大のメリットは、アプリビジネスやデジタルマーケティング領域での提案範囲・ビジネスチャンスが無限大に広がることです。新規アプリ開発を伴う提案、既存アプリに関する提案、スモールスタートとその後の拡張性を両立する提案も、「APPBOX」ならすべてに活用できます。

■アクセラレーター

ソリューション・コンサルティングいずれかのパートナー連携に向けまずは検討を始めたい企業様向けのプランです。連携に向けた協議をスピーディーに開始できるよう、手続きと審査を簡略化しています。パートナーシップの内容を検討中の企業様、社内決裁に時間を要する企業様にはアクセラレーターからのご参画をお勧めします。

■全パートナー共通特典（一例）

- ・ APPBOX の最新情報や機能の先行公開
- ・ 検証環境のご提供
- ・ ナレッジ習得環境のご提供
- ・ 専門チームによるサポート
- ・ 各種共同プロモーション等

「APPBOX（アップボックス）」とは (<https://iridge.jp/service/appbox/>)

「APPBOX」は、30種類以上の SDK（モジュール）をそろえたアプリビジネスプラットフォームです。必要なモジュールを組み合わせることで、スクラッチ開発・パッケージ・機能拡張のすべてのアプリ開発と、アプリの運用・マーケティング施策に対応できます。「APPBOX」は「工数/工期を抑えたスクラッチ開発」「捨てずに拡張できるパッケージアプリ」「ベンダーフリーで内製化も妨げない機能拡張」「高速 PDCA を可能にするマーケティング支援機能」「『APPBOX コネクト』をはじめとする柔軟な他社連携・カスタマイズ」の5つの価値を提供します。

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動) 支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU (月間アクティブユーザー) は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

今年 4 月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発（ゼロからの開発）、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。